

医療教育研修室ニュースレター

2011.3.28 発行



総括 ～激動の活動2年目を終えて～

呼吸器疾患勉強会は計13回開催されました。この勉強会は医療教育研修室の軸となる企画だけあって、質・量ともに豊富です。今年度は講義形式だけでなく、体験型やグループワーク型の勉強会も増えました。また、アンケートを通じて要望の高かった COPD・間質性肺炎・結核について疾患の各論的講義も盛り込みました。

肺癌化学療法勉強会は前年度7回のシリーズで行った内容を一気に2回に短縮、とてもお得な勉強会になりました。それだけに講師の門脇先生・野津看護師には大変なご苦労をおかけしたと思います。本当にありがとうございました。

重心勉強会・神経難病勉強会は今年度目玉の一つとして開催されました。関連する病棟だけでなく、他病棟の多くの看護師さんの参加を期待していましたが、広報の力不足もあり、なかなか難しかったようです。この勉強会は当センターの柱の医療であり、なんとか参加人数の増加に結びつける広報を考えたいものです。

その他企画勉強会は計5回開催されました。企画していただいた方・ご協力いただいた方ありがとうございました。企画勉強会の中で一番反響が大きかったのが「心不全」「心電図」で、2回講師を務めてくださった石川先生の講義はとてもわかりやすく好評でした。

院内発表会は何年ぶりの復活でしたが、亀崎事務部長をはじめとする準備委員会のお力で期待通りの大成功です。「各職場の取り組み発表」をメインにし、他職種に対する理解が深まる1日となりました。個人的にはランチョンセミナーのカレーパンおいしかったです。

第1回松江呼吸器セミナーはテーマを「排痰のコツ教えます」とし、門脇先生、松岡師長、平野理学療法士がそれぞれの立場から講演しました。院外から209名もの参加があり、排痰に対する関心の高さ、当センターに対する期待の大きさをひしひしと感じました。講演では活発な質疑応答もあり、大・大・大成功で終わることができました。

広報スタッフの声

池口「ほぼ全回の勉強会をビデオ撮影してきました。カメラワーク、当初より上手くなったでしょうか？これを収めたDVDのレンタル数も増えてきました。嬉しい限りです。地味な活動ですが、来年度もまた引き続き頑張っていきます。」

福田「研修会案内ポスター作製を担当しておりました。案内が遅かったり、研修内容が二転三転したり、皆様にはご迷惑をお掛けしました。」



教育研修室スタッフ写真(H22.4)

西垣「微力ながら広報担当としてたずさわってきて感じたことは、大勢の人に周知徹底させる事のむずかしさと医療教育の必要性でした。とてもいい研修をチョイスしております。少しでも参加人数を増やすように働きかけていこうと思います。」

平野「2年目の広報活動を終えて、参加人数が増えたことにより嬉しいです。個人的には医療教育研修室の活動を国立学会でポスター発表したり、呼吸器セミナーでの講師役を務めたり、とても充実した1年を過ごすことができました。」

来年度の医療教育研修室は・・・

講義形式から参加型にシフト

「院内発表会」により院内の活性化

「松江呼吸器セミナー」を通じて院外への情報発信